

24春闘交渉速報

第2回3回交渉 会社見解・ベースアップ等

物価高騰で生活する社員・家族に 17,000円のベースアップを！

賃上げの必要性を強く主張！

国労：会社は新賃金の判断材料を、景気動向、会社の経営体力、賃金水準、世間相場などを勘案して決定するとし、中長期的視点で考えていく必要があるとしている。また、賃金水準が高く月例賃金を改善する必要性が見いだせないことを繰り返し強調されるが、その考えに変わりはないか。

会社：見いだせないというか、基本的な考え方に変わりはない。

国労：会社は「物価が上がれば実質賃金が下がる」とは認めている。2024年の値上げ実施が昨年未から既に発表されるなど、物価上昇が続くことは明らかでありベースアップは必須である。



会社：物価が上がれば実質賃金が下がることはその通りである。しかし、それだけで判断するものではない。当社の賃金水準は高いことは理解いただいて議論できればと考えている。

詳細は交渉情報参照

コロナ禍でも頑張ってきた社員・家族の苦しい 生活改善のために、会社は満額回答を！

職場の要求も前進させよう！

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部 編集責任者：寺崎 浩